

中央職業訓練所，附属総合訓練所の訓練生の素質並びに選考方法に関する考察，中間報告。

附 職業適性検査の信頼性，妥当性の検証。

1. 目的

中央職業訓練所（以下中訓と記す）同附属総合訓練所（以下附属総訓と記す）が実施している入所試験資料に基き，両訓練所の訓練生の素質を明らかにして，訓練内容の幅と深さ，指導方法を如何にすべきかについての考察資料とすると共に，入所選考基準を定め，併せて職業適性検査の信頼性と妥当性とを検証しようとする。

2. 入所試験項目

a 附属総訓

36年 数学，理科，国語。

〔註〕入所後労働省編一般職業適性検査（第Ⅱ）及び同編性能別職業適性検査（第Ⅲ）を実施する。

37年 数学，国語，理科及び

労働省編一般職業適性検査（第Ⅱ）

b 中訓

36年 数学，理科（物理化学）国語，英語，社会，及び労働省編性能別職業適性検査（第Ⅲ）

〔註〕入所後労働省編一般職業適性検査（第Ⅱ）と前記職業適性検査（第Ⅲ）を実施する。

37年 数学，物理，化学，英語，及び労働省編性能別職業適性検査（第Ⅲ）

3. 入所試験成績

a 附属総訓，学科試験結果。

36年の学科成績は第1表，37年の学科成績は第2表の通り。

両年度の各学科別配点は同じであるから，両年度を比較しうるので，比較してみると，

(i) 両年度共に合格者の平均は各科共配点の半分以上にある。

(ii) 平均点のみで比較すると36年の方が37年より高いが，36年は数学，理科で極めて低い点の者が入所許可されている。しかし両年度の問題の困難

度が異なるから直接の比較はできない。

(iii) 37年の表をみると，合格者の平均点が不合格者（合格不参者を含む）の平均点より3科共に低くなっている。合格者の方には最下点が含まれていないのであるから，点数のよい者が合格辞退したということになる。

b 附属総訓職業適性検査結果

36年の結果は第3表，37年の結果は第4表の通り。

(i) 各性能共，36年度の方が良好である。特に言語，算数，書記的知覚，目と手の共応，運動速度（打叩速度）指先の器用さの差は大きい。

(ii) 37年の言語，打叩速度の平均が90点以下であるのは，中卒者としては悪過ぎるように思われる。

(iii) この検査では高校一年（中卒の年のもの）の平均が100（91～110）で，この範囲に含まれるものが38%で最大となるのであるが，36年の合格者の方は各性能とも最大頻数が91～110にあり，その百分比も35.7%の間にあつて先ず先ずであつたが，37年の方は各性能における91～110の頻数百分比は26.7%ないし45.2%で，眼と手の協応や打叩速度では最大頻数が71～90の間に来ており，どの性能でもこの級間の頻数が標準頻数より多い場合が多い。即ち一階級下にずれている。

(iv) 学科成績の場合同様に，不合格者群の平均が合格者群の平均より高い，それは上位点数者の中に合格しながら高校へ進学したり，会社工場へ就職して入所辞退をした者があつたためである。

c 中訓学科試験成績

36年の結果は第5表に，37年の結果は第6表に示す通りである。

(i) 36年，37年共に上位成績者の中に入所辞退者を多く出してはいるが（各学科の不合格者群中の上位成績者百分比が合格者群の上位成績者百分比より多いものがある）裾を払う率の方が高いから，合格者の平均は不合格者の平均より高い。

(ii) 合格者群は裾を払つており，極く上位者が辞退しているために，不合格者群より粒揃である（標準偏差が少ない）

(iii) 両年度の学科上の優劣については，出題が異なるために直接比較することはできない。

d 中訓職業適性検査結果

36年の結果は第7表に，37年の結果は第8表に示す通りである。

(i) 36年と37年との間を比較すると，合格者についても，応募者についても各性能とも殆んど同程度で，高校卒業生として普通の能力所持者である。

(ii) 合格者で90点以下の性能のものは極く少数で、理工系の者には余り必要とされない。Q書記的知覚とP形態知覚とにおいて90点以下がやゝ多く見られるに過ぎない。

(iii) 運動速度も亦90点以下の者が多いようである。

(iv) 各性能において下位者は不合格となつていたので、上位者に合格不参者がたにも拘わらず、合格者群が不合格者群より優れている。

4. 入所時適性検査成績より見たる中退者、在所者とその学科、実習の成績。

a 性能点の意味

労働省編性能別職業適性検査(第Ⅲ)及び同省編一般職業適性検査(第Ⅱ)の性能点は全国高校男女一年生を標準として、平均が100点となり、それより点が多くなるにつれ優れた性能を、それより点が少なくなるにつれて劣つた性能を示すことになつている。

性能点とそれに対する人員の比率は第9表に示す通りで、90~109の段階の者は最も普通な能力程度のものである。

b 知的特性総合判定規準

理工系の技術技能の修得に必要な性能とその程度として第10表に示す条件でA, B, C, D, E, Fの6段階に区分した。例えばA級と判定されるにはG...130, V...130, N...130, Q...110, S...130, P...110以上でなければならず、どの性能1個でもこれ以下であつてはならないとする。

c 器用さ判定規準

器用さの判定規準としては、第11表に示す条件でA, B, C, D, E, Fの6段階に區別した。

性能別職業適性検査ではA, Tに分割されずD1個となつていたので、A, Tに替えてDの成績のみでみることにする。

d 知的特性程度別在所生中退者

(i) 36年入所附属総訓生は第12表、37年入所附属総訓生は第13表に示す。

(i) 36年入所生の退所率13.6%, 37年入所生の退所率12.7%で非常に大きい。

(ii) 知的特性程度別に退所率をみると、Bは36年57.2%, 37年33.3%と非常に大きく、Eは36年2.9%, 37年2.0%, Fは36年18.2%, 37年8.3%となつていて、Bという附属総訓訓練生としては優秀なものの退所率が大であることに注意せねばならない。しかもB級で

は早期に退所者が発生し、又その退所理由が訓練所に対する不満、みかぎりであり、E級、F級の退所が1年の後期試験終了後に発生し、或は成績不良で退所を命ぜられたためであり、ついて行けない為のものであることが重大な意味をもつのではなからうか。E級、F級の水準以下の者を持つことがB級、C級の者に不満をおこさせる原因になるのではなからうか。

(ii) 附属総訓の訓練生の中核がD級(36年53.3%)(37年43.1%)で占められ、これに僅かなC級(36年22.4%, 37年20.8%)が加わり、A級皆無という状態は、その知的素質が非常に低いことを示すものではなからうか。

(iii) 36年中訓入所生は第14表、37年中訓入所生は第15表に示す。

(i) 退所率は36年入所18.0%, 37年入所5.9%で両者に大きな差があるのは、37年入所の退所者がB級に多く出て、所に不満をいだいて早期に退所した者だけであるのに対し、36年の退所者はA, B級, C級の1部の者で大学に進学したものがあつたのと、出席不良の為に原級にとどめられそれが因で退所した者が含まれているようである。

(ii) 中訓生の中核は附属総訓と異つて、C級(36年45.2%, 37年42.5%)で、それに次いで36年はD級(31.5%)、37年はB級(30.0%)が多く、E, F級の者は殆んどなく、A級が(36年5.5%)(37年6.2%)含まれていて、在所者の素質は決して悪いとはいえない。

e 知的特性段階と成績との関係

知的特性の程度と専門学科成績や実習成績との間にどのような関係があるかを見るために、中訓生も附属総訓生も37年度前期の専門学科総合点、実習点に基づいて、科別に3分の1づつの上, 中, 下の三群に分けることにし、上群に属する者、下群に属する者の知的特性段階構成を比較した。

本来は科別に考察すべきであるが、人員が少ないために各科を合計して考察することにした。従つて専門学科と知的特性との関係の考察には差した不都合はないものと思われるが、実習については甚だしい不合理が生ずる。即ち機械科の如く機械の操作を主体とする実習も、自動車整備、板金溶接、木工、電機器修理の如き手作業を主体とする実習も、ラジオ、テレビの如き手作業と実験的な実習も製図の如き知的実習も一本に合計することになつたのは不都合ではあるが、やむを得ない措置であつた。

(i) 附属総訓生

附属総訓に関する結果は第16表の通りである。

専門学科の成績と知的特性との関係は、37年入所生についても36年入所

生についても上群はB, Cに属する者が多く、下群はE, Fに属する者が多くなっている。即ち37年入所生ではB, Cに属する者は上下両群で17人であるがその82.5%の14人は上群に属し、36年入所生ではB, Cに属する者は上下両群で23人であるがその78.3%の18人は上群に属している。これに対し、37年入所生ではE, Fに属する者は上下両群で31人であるが、その67.8%の21人は下群に属しており、36年入所生ではE, Fに属する者は上下両群で14人であるがその71.5%の10人は下群に属している。故に知的特性と専門学科成績との間には積極的關係があるといえる。実習成績と知的特性との關係は、37年入所生についても36年入所生についても同じ傾向で、上群は下群に比してB, Cに属する者が多く、E, Fに属する者が少ない。即ち、37年入所生のB, Cに属する19人中57.9%の11人が上群に属し、36年入所生のB, Cに属する19人中84.3%の16人が上群に属しており、37年入所生のE, Fに属する24人中70.9%の17人が下群に属し、36年入所生のE, Fに属する11人中72.8%の8人が下群に属している。故に知的特性と実習成績との間にも積極的關係があるといえる。

- (ii) 中訓生に関する結果は第17表に示す通り。専門学科と知的特性との關係をみると、37年入所生についても、36年入所生についても上群はA, Bに属する者が多く、下群はD, E, Fに属する者が多い。即ち、37年入所生のA, Bに属する17人中70.7%の12人、36年入所生のA, Bに属する11人中72.7%の8人は上群に属し、37年入所生のD, Eに属する13人中61.5%の8人、36年入所生のD, E, Fに属する16人中68.8%の11人は下群に属している。又実習成績と知的特性との關係をみると、37年入所生についても36年入所生についても大体同傾向で、上群にはA, Bに属する者が、下群にはD, Eに属する者が多くなっているが、その傾向は専門学科と知的特性との場合の如く附属総訓の場合の如く著しくはない。即ち37年入所生のA, Bに属する者18人中61.1%の11人、36年入所生のA, Bに属する者13人中61.5%の8人が上群であり、37年入所生のD, E組14人中57.2%の8人、36年入所生のD, E組18人中55.6%の10人が下群であった。

f 器用さ段階と成績との關係

(i) 附属総訓生

附属総訓生に関する結果は第18表に示す通りである。専門学科と器用さとの關係についてみると、37年入所生についても36年

入所生についても、同傾向で、上群の中にはB, C組が、下群にはE, F組がやや多くなっているが、その傾向は明白でない。即ち37年入所生のB, C組24人中62.5%の15人、36年入所生のB, C組35人中54.5%の19人が上群であり、37年入所生のE, F組20人中55.0%の11人、36年入所生のE, F組11人中63.6%の7人が下群である。

実習成績と器用さとの關係についてみると、この間には殆んど積極的關係はみられない。むしろ器用さと実習成績との間には關係はないといった方がよい。即ち37年入所生B, C組17人中58.8%の10人、36年入所生B, C組25人中60.0%の15人が上群にあり、37年入所生E, F組24人中50%、36年入所生E, F組12人中38.3%の7人が下群である。技能修得過程期間中に学びとることが大切であるから知的特性の方が器用さに優先するのではなからうか。

(ii) 中訓性

中訓生に関する結果は第19表に示す通り。専門学科と器用さとの關係については、37年、36年の入所生についてみると上群と下群との間に差が見られない。又実習成績と器用さとの關係についても、上群と下群との間に差が見られない。

5. 要 約

- (a) 附属総訓において、学科試験成績からみても適性検査の結果からみても、応募者不足から、それは上位者が結局高校へ進学するか就職するかの為めではあるが、無理に訓練定員を充足しようとする結果、入所の方が不合格者より成績不良ということになっている。
- (b) 附属総訓においては知的特性のE以下の者の入所を許可しない方がよい。彼らの成績は不良であり、彼等が混入することにより上位者が逃げ出す傾向がある。
- (c) 中訓においては、上位者の入所辞退が多いとはいえ、なお裾を払うことが多いから、入所者の成績は不合格者より良い。
- (d) 中訓へは知的特性がD以下の者の入所を許可しない方がよい。
- (e) 中訓、附属総訓共に知的特性の優れた者が学科成績も実習成績も良好である。

6. 入所試験学科相互、入所試験学科と、職業適性検査との相関について

- (a) 入所試験学科相互間の相関(第21表, 第22表)

- (i) 附属総訓の方は、学科相互間の相関はややある程度で、数学、国語間が+0.52で数学理科間、理科国語間はそれより低い。
- (ii) 中訓の方は、各学科の相関は最低、数学化学間、数学、英語間の+0.61から最高物理化学間の+0.74までで相当高い相関を示した。
- (b) 入所試験学科と適性との関係(第23表、第24表)
- (i) 性能の中、G知能、V言語、N算数は、中訓においても附属総訓においても他の性能より各学科と積極的相関を示しているが、その相関の程度はややあるという位から相当度という位のところであり、また附属総訓の方が高い。
- (ii) Q書記的知覚、S空間弁別、P形態知覚、D運動は数学、理科、物理、化学、国語、英語などの学科と殆んど相関しない。ただ空間弁別は其中でも他の3性能よりは学科と相関している。
- (iii) 附属総訓の理科は例外であるが、おしなべて37年の学科試験の方が36年より性能と高い相関があるようにみうけられた。
- (iv) 36年の中訓入所試験学科成績合計点で上群、中群、下群(30%、40%、30%)に分けて各群の性能別性能点段階別構成を表わすと第25表の通りになるが、(i)、(ii)も裏書きする如く、上群は各性能共に僅かながら上位点者の率が下群のそれより高くなっている。下群は逆に性能上、下位者の率が多くなっている。
- (v) 36年入所附属総訓生の1年前期における専門学科成績と性能との相関を科別に示すと第27表の如く、科により著しい差がある。機械科は知能と算数とが、機械製図科は知能、言語、算数、書記的知覚が、ラジオ、テレビ科は知能、言語、空間弁別が、電工科は算数が、電気機器修理科は形態知覚以外のものが溶接科は知能、言語、算数が、板金科は言語、形態知覚が、専門学科と割合によく相関している。

ちなみに、入所試験と専門学科との相関は第26表の如く、板金科以外は両者間高い相関を示していて、これに関する限り入所の学科試験の方が適性検査よりよいともいえるが、確実なことはいいきれない。

- (vi) 36年入所中訓生の1年前期における専門学科成績と性能との相関を科別に示すと第29表の如く、こゝでも科により著しい差がみられる。機械科は知能、言語、算数、書記的知覚が、板金科は書記的知覚以外の性能が、鑄造鍛造科は知能、言語、空間弁別が、木材加工建築専科は知能、言語が、木材加工木工専科は書記的知覚以外の性能が塗装科は空間弁別が、専門学科と相当相関している。

第一電気科、第二電気科、運輸装置科では専門学科と相関する性能がなかつ

た。特に運輸装置科は附属総訓でも同様であつたことは注意すべきである。ちなみに、入所試験と専門学科との相関は第28表に示す如くで、機械科、運輸装置科ではこの両者間に相関のある科目はみられなかつたが、その他の科では0.60以上の相関を示す入試科目がみられた。

- (c) 労働省適性検査の信頼性について(第30表)

労働省一般職業適性検査(第II)と同性能別適性検査(第III)との間の相関は附属総訓では最低S性能の0.51から最高G性能、Q性能の0.84まで相当高いものであり、中訓では、最低S性能の0.45から最高N性能の0.80までこれもよい相関係数を示している。

但し第IIIのD性能と、F性能、M性能間の相関は頗る低く別の性能と考えられる。

中訓において、第IIIを2度試みたのであるが1度目と2度目の相関は最低0.60から最高0.82の間で十分な信頼度が認められた。

又第IIIの第2回目と第IIとの相関は、第IIIの1回目と第IIとの相関より各性能とも改善されていた。

第1表 36年附属総訓入所者学科試験成績(合格者のみ)

合計		数 学		理 科		国 語	
点	%	点	%	点	%	点	%
89~98	15.6	50	18.5	30	5.2	19~20	20.7
79~88	18.5	45~49	7.4	27~29	20.0	17~18	28.3
69~78	11.1	40~44	11.9	24~26	14.1	15~16	18.5
59~68	14.8	35~39	5.9	21~23	1.5	13~14	5.9
49~58	10.4	30~34	8.9	18~20	19.3	11~12	11.1
39~48	8.9	25~29	4.4	15~17	10.4	9~10	4.4
29~38	5.9	20~24	8.9	12~14	11.1	7~8	5.2
19~28	10.4	15~19	9.6	9~11	3.0	5~6	2.2
9~18	3.0	10~14	5.2	6~8	7.4	3~4	3.7
4~8	1.5	5~9	6.7	3~5	3.0		
		0~4	12.6	0~2	5.2		
A V	61.9	A V	28.9	A V	18.7	A V	15.0
S.D	24.6	S.D	16.9	S.D	8.3	S.D	4.4

第2表 37年附属総訓応募者合格者・不合格者別学科試験成績

合計				国 語				理 科				数 学			
点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者
95	6	4	8	19.5	3	5	2	29	7	3	9	48	31	24	35
85	12	9	13	17.5	8	9	8	26	6	5	7	43	11	7	14
75	24	19	27	15.5	11	8	13	23	4	5	3	38	13	13	13
65	16	17	15	13.5	18	12	22	20	5	5	6	33	8	8	8
55	12	13	11	11.5	15	16	14	17	31	32	31	28	8	13	5
45	13	17	11	9.5	19	21	3	14	22	25	20	23	6	8	5
35	9	16	5	7.5	15	16	3	11	20	19	20	18	8	12	6
25	7	5	9	5.5	5	7	3	8	3	4	2	13	7	11	4
15	1		2	3.5	3	4	1	5	2	2	2	8	4	4	4
5				1.5	2	2						3	4		6
0				0	1							0	0		1
人数	348	133	215	人数	348	133	215	人数	348	133	215	人数	348	133	215
A V	61.9	58.4	63.3	A V	11.2	11.0	11.3	A V	16.5	15.9	16.8	A V	33.5	31.5	34.8
S.D	20.3	18.7	21.0	S.D	4.1	4.2	4.1	S.D	5.5	4.9	5.8	S.D	14.7	13.3	14.3

第3表 36年附属総訓入所者適性検査成績(労働省第II)

性 能	性 能 点		← 50	51~70	71~90	91~110	111~130	131~150	151→
	平均	標準偏差							
G 知 能	98.6	±19.7		8.7	23.8	42.1	19.8	5.6	
V 言 語	94.5	±20.6	1.6	11.1	30.2	35.7	18.3	2.4	0.8
N 算 数	100.6	±19.3	0.8	5.6	22.2	39.7	24.6	7.1	
Q 書記的知覚	105.3	±22.1		4.0	17.5	42.1	23.0	12.7	0.7
S 空間弁別	99.2	±18.7	0.8	6.3	23.8	43.7	21.4	4.0	
P 形態知覚	96.0	±21.9	3.2	8.7	28.6	38.9	14.3	6.3	
A 目下手との協応	101.5	±24.8	2.4	8.7	19.0	35.7	21.4	8.7	4.0
T 運動速度	102.5	±23.9	2.4	5.6	22.2	37.3	21.4	7.9	3.2
F 指先器用	104.3	±21.4		7.1	15.9	35.7	33.3	5.6	1.6
M 手腕器用	98.9	±19.9	0.8	7.9	21.4	39.7	26.2	4.0	

第4表 37年附属総訓応募者・合格者・不合格者別適性検査成績(労働省第Ⅱ)

性能		性能点		以下 50	51~ 70	71~ 90	91~ 110	111~ 130	131~ 150	151 以上
		平均	標準 偏差							
G 知能	全数	96.8	±21.0	23	8.3	24.9	35.5	25.1	3.9	
	合格者	93.5	±20.4	0.7	12.4	30.8	33.6	20.5	2.0	
	不合格者	98.8	±22.6	3.2	5.9	21.5	36.5	27.9	5.0	
V 言語	全数	89.1	±19.7	4.1	12.2	32.3	39.5	10.8	1.1	
	合格者	86.5	±19.9	4.8	14.4	34.9	35.6	10.3		
	不合格者	90.4	±20.2	3.7	11.0	30.1	42.0	11.4	1.8	
N 数学 (算数)	全数	97.7	±24.1	4.1	8.3	22.9	30.2	27.9	6.6	
	合格者	93.1	±22.8	4.2	11.6	27.4	30.8	24.0	2.0	
	不合格者	100.5	±25.3	4.1	6.4	20.1	29.7	30.1	9.6	
Q 書記的 覚	全数	98.8	±20.3	0.3	5.8	29.3	38.9	18.2	5.8	1.7
	合格者	96.8	±19.9		6.1	32.9	39.0	16.4	4.2	1.4
	不合格者	99.9	±21.5	0.5	5.5	26.9	38.9	19.6	6.8	1.8
S 空間弁別	全数	100.7	±18.4	0.3	3.3	24.0	43.6	22.4	5.8	0.6
	合格者	101.6	±18.6		2.0	24.7	45.2	20.5	6.9	0.7
	不合格者	100.2	±19.2	0.5	4.1	24.2	42.4	23.3	5.0	0.5
P 形態知覚	全数	94.4	±20.8	1.1	9.4	34.3	33.4	16.3	5.2	0.3
	合格者	91.4	±20.9	2.0	12.4	32.9	35.6	13.7	3.4	
	不合格者	96.0	±21.3	0.5	7.8	35.0	32.0	17.8	6.4	0.5
A 眼と手の 協応	全数	94.3	±21.9	2.8	8.6	30.9	34.5	17.4	5.5	0.3
	合格者	95.0	±21.4	1.4	7.4	35.6	32.9	15.8	6.9	
	不合格者	94.2	±23.3	3.6	9.1	27.9	36.0	18.3	4.6	0.5
T 打叩速度	全数	88.8	±21.0	2.8	14.4	36.1	31.5	12.7	2.2	0.3
	合格者	88.8	±22.4	2.0	15.8	39.8	26.7	11.6	3.4	0.7
	不合格者	88.9	±20.8	3.2	13.7	33.8	34.7	13.2	1.4	
F 指先の 用器	全数									
	合格者	93.5	±21.6	2.2	11.5	29.5	33.1	20.9	2.9	
	不合格者									
M 手腕の 用器	全数									
	合格者	99.4	±21.3	1.4	5.8	25.2	36.0	25.9	5.0	0.7
	不合格者									

第5表 36年中訓応募者・合格者・不合格者別学科成績

総合点				数 学				理 科(物理化学)			
点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者
900→	1.9		2.8	450	4.5	6.5	3.7	140~153	4.9	8.7	3.2
820~899	9.1	10.9	8.3	400~449	12.6	19.6	9.7	126~139	10.4	13.0	9.2
740~819	11.7	26.1	5.5	350~399	10.7	20.7	6.4	112~125	7.8	13.0	5.5
660~739	13.3	23.9	8.8	300~349	14.6	22.8	11.1	98~111	8.7	19.6	4.1
580~659	8.7	12.0	7.4	250~299	6.8	8.7	6.0	84~97	3.6	5.4	2.8
500~579	10.0	9.8	10.1	200~249	10.0	8.7	10.6	70~83	6.8	6.5	6.9
420~499	12.6	12.0	12.9	150~199	8.4	5.4	9.7	56~69	5.5	5.4	5.5
340~419	5.2	1.1	6.9	100~149	6.5	5.4	6.9	42~55	13.3	10.9	14.3
260~339	9.1	2.2	12.0	50~99	7.4		10.6	28~41	9.4	3.3	12.0
180~259	9.1	2.2	12.0	0~49	18.4	2.2	25.3	14~27	15.2	9.8	17.5
100~179	9.4		13.4					0~13	14.6	4.4	18.9
A V	526.9	661.7	69.7	A V	231.8	321.5	193.8	A V	64.2	87.2	54.5
S.D	232.3	151.4	237.0	S.D	148.2	100.6	148.9	S.D	46.3	42.6	44.3

国 語				英 語				社 会			
点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者	点	全数	合格者	不合格者
				92~100	1.6	3.3	0.9	175~189	3.2		4.6
				82~91	6.8	6.5	6.9	160~174	7.8	8.8	7.4
				72~81	12.6	21.7	8.8	145~159	16.6	24.2	13.4
92~100	3.2	6.5	1.8	62~71	11.0	14.1	9.7	130~144	21.1	23.1	20.3
82~91	12.0	18.5	9.2	52~61	8.4	16.3	5.1	115~129	18.2	20.9	17.1
72~81	20.7	23.9	19.4	42~51	9.7	15.2	7.4	100~114	14.0	15.4	13.4
62~71	24.2	28.3	22.6	32~41	10.0	8.7	10.6	85~99	9.4	5.5	11.1
52~61	21.4	15.2	24.0	22~31	11.0	7.6	12.4	70~84	7.1		10.1
42~51	12.3	7.6	14.3	12~21	13.9	5.4	17.5	55~69	1.9	2.2	1.8
32~41	5.5		7.8	2~11	13.6	1.1	18.9	40~54	0.3		0.5
22~31	0.6		0.9	0~1	1.3		1.8	25~39	0.3		0.5
A V	65.3	71.2	62.8	A V	43.5	57.3	37.7	A V	125.1	131.1	123.2
S.D	15.0	13.0	15.0	S.D	27.1	21.2	27.3	S.D	28.3	23.2	30.4

第6表 37年中訓応募者合格者・不合格者別学科試験

点	数 学			物 理			化 学			英 語		
	全数	合格者	不合格者	全数	合格者	不合格者	全数	合格者	不合格者	全数	合格者	不合格者
96				3	3	3				1		1
87	1	2	1	5	3	5	1	1	1	7	7	6
78	2	1	2	7	9	5	2		3	8	10	7
69	6	9	4	14	20	12	9	7	10	10	13	8
60	3	3	3	10	20	5	10	17	6	12	16	9
51	8	9	7	9	15	6	10	12	10	11	19	8
42	9	7	9	10	10	9	13	22	9	9	10	8
33	9	13	6	12	9	13	13	16	11	9	13	8
24	10	12	9	12	8	15	11	14	9	10	9	10
15	12	19	9	10	2	15	8	7	9	8		12
6	19	22	17	8	1	11	19	3	27	10	3	13
1							2	1	2	3		5
0	22	3	33	1		1	2		3	3		5
人 数	258	86	172	258	86	172	258	86	172	258	86	172
平 均	24.1	30.2	21.0	45.7	55.2	40.9	34.8	41.0	31.6	43.2	52.8	38.3
標準偏差	±23.5	±22.9	±22.9	±25.4	±19.8	±26.5	±22.9	±17.7	±24.4	±26.6	±20.1	±28.1

各点の数字は人員全数を100としている。

第7表 36年中訓応募者・合格者・不合格者別適性検査成績（労働省第Ⅲ）

性 能		性 能 点		以下49	50 ~69	70 ~89	90 ~109	110 ~129	130 ~149	150 以上
		平 均	標準偏差							
G 知 能	全 員	115.8	±17.3			82	28.2	46.1	15.1	2.4
	合格者	122.1	±15.0			22	16.5	56.0	22.0	3.3
	不合格者	112.0	±17.5			117	36.6	38.6	11.1	2.0
V 言 語	全 員	112.3	±17.3		2.0	9.4	29.4	44.5	14.3	0.4
	合格者	118.5	±14.6			3.3	22.0	52.7	22.0	
	不合格者	108.7	±17.8		3.3	12.4	34.6	39.2	9.8	0.7
N 算 数	全 員	112.1	±18.7		0.8	10.1	35.7	40.5	10.1	2.8
	合格者	117.4	±18.1			4.4	29.7	46.2	14.2	5.5
	不合格者	109.0	±18.4		1.3	13.5	38.7	36.1	8.5	1.9
Q 書 的 知 覚	全 員	104.4	±21.7		4.1	23.9	39.2	21.4	8.2	3.2
	合格者	112.1	±21.4		1.1	12.2	41.1	24.4	15.6	5.6
	不合格者	99.8	±20.6		5.9	30.9	36.8	19.8	4.6	2.0
S 空間弁別	全 員	111.9	±19.1		1.2	12.1	35.1	35.5	13.7	2.4
	合格者	117.6	±18.8		1.1	4.3	33.7	37.0	19.6	4.3
	不合格者	108.5	±18.4		1.3	16.8	36.8	33.5	10.3	1.3
P 形態知覚	全 員	98.9	±19.8	0.4	6.1	26.2	42.3	18.6	5.2	1.2
	合格者	104.0	±19.3		3.3	19.5	44.6	25.0	4.3	3.3
	不合格者	96.0	±19.4	0.7	7.8	29.0	41.9	14.8	5.8	
D 運動速度	全 員	101.1	±20.8	1.2	5.3	24.9	35.9	24.1	8.6	
	合格者	103.7	±21.1	1.1	4.4	21.1	33.3	30.0	10.0	
	不合格者	99.6	±20.5	1.3	5.8	27.1	37.4	20.6	7.8	

第8表 37年中訓応募者・合格者・不合格者別適性

性 能		性 能 点		以下 50	51~ 70	71~ 90	91~ 110	111~ 130	131~ 150	151 以上
		平 均	標 準 偏 差							
G 知 能	全 員	119.6	±20.3	0.4		7.1	21.8	40.1	25.0	5.6
	合 格 者	125.8	±16.4			1	12	52	27	8
	不 合 格 者	116.5	±21.1	1		10	27	34	24	4
V 言 語	全 員	113.8	±20.4	0.4	2.4	9.5	25.8	42.5	16.3	3.2
	合 格 者	118.4	±16.5			2	28	50	17	3
	不 合 格 者	111.4	±22.7	1	4	13	25	38	16	3
N 算 数	全 員	115.4	±20.1		2.4	7.5	25.4	40.9	21.8	2.0
	合 格 者	121.9	±15.1			2	16	53	28	1
	不 合 格 者	112.4	±21.4		4	10	30	35	19	2
Q 書 記 的 覚	全 員	106.0	±21.0	0.8	2.7	17.9	33.1	33.1	10.8	1.6
	合 格 者	111.3	±17.2		1	7	40	38	14	
	不 合 格 者	104.5	±23.4	1	4	23	30	30	9	3
S 空 間 弁 別	全 員	116.5	±18.1		0.7	5.2	30.6	39.7	21.8	2.0
	合 格 者	120.0	±16.4			1	29	40	29	1
	不 合 格 者	114.7	±19.2		1	7	31	41	18	2
P 形 態 知 覚	全 員	105.7	±19.7	0.4	2.8	18.3	38.5	31.4	5.8	2.8
	合 格 者	109.7	±17.7			9	47	34	7	3
	不 合 格 者	103.0	±21.5	1	4	23	35	30	5	2
D 運 動 速 度	全 員	98.9	±19.8	0.8	6.8	21.5	44.2	21.1	5.2	0.4
	合 格 者	100.9	±19.7		6	20	46	21	6	1
	不 合 格 者	98.1	±20.2	1	7	22	43	21	6	
F 指 先 器 用	全 員									
	合 格 者	99.8	±21.3		5	32	33	22	7	1
	不 合 格 者									
M 手 腕 器 用	全 員									
	合 格 者	108.5	±21.4		2	16	34	38	7	3
	不 合 格 者									

性能点段階の数字は百分比。不合格者には不参者を含む。

入所時適性検査成績より見たる

中退者・在所者学科・実習の成績

1. 性能点の意味(第9表)

性 能 点	69以下	70~89	90~109	110~129	130以上
百人中の程度	下7%	左上24%	中央38%	中央上24%	上7%

2. 知的特性総合判定規準(第10表)

判 定	G 知 能	V 言 語	N 算 数	Q 書 記 的 知 覚	S 空 間 弁 別	P 形 態 知 覚
A	130以上	130以上	130以上	110以上	130以上	110以上
B	110以上	110以上	110以上	100以上	110以上	100以上
C	90以上	90以上	90以上	90以上	90以上	90以上
D	70以上	70以上	70以上	70以上	70以上	70以上
E	70以上ではあるが69以下も混るもの					
F	69以下	69以下	69以下	69以下	69以下	69以下

3. 器用さ判定規準(第11表)

判 定	A 眼 と 手 の 協 応	T 叩 く 速 さ	F 指 先 器 用 さ	M 手 腕 器 用 さ
A	130以上	130以上	130以上	130以上
B	110以上	110以上	110以上	110以上
C	90以上	90以上	90以上	90以上
D	70以上	70以上	70以上	70以上
E	70以上ではあるが69以下も混るもの			
F	69以下	69以下	69以下	69以下

中訓はA・Tが綜合されDとなるのです。

4 知的特性在所生中退者

a 36年入所附属総訓生(第12表)

		機械	製図	電工	引港	電機器	板金	溶接	自動車	合計	%
A	在所 中退 計										
B	在所 中退 計		2 3			1 1				2 4 7	2.8 (57.2) 5.6
C	在所 中退 計	6	4		3 1	1	1	2	7 1	24 2 26	22.4 (7.7) 21.0
D	在所 中退 計	7	4 1	10 1	9 2	5	5	2	15 1	57 5 62	53.3 (8.1) 50.0
E	在所 中退 計	2				1	1	1	1	5 2 7	4.7 (2.9) 5.6
F	在所 中退 計	3 1	1	4	3 1	4	1	2	1	18 4 22	16.8 (18.2) 17.8
合計	在所 中退 計	18 1 19	10 5 15	14 1 15	15 4 19	11 2 13	8 1 9	7 1 8	24 2 26	107 17 124	86.4 13.6 100.0

b 37年入所附属総訓生(第13表)

		機械	製図	電工	ラジオ テレビ	電機器	板金	溶接	自動車	木工	合計	%
A	在所 中退 計											
B	在所 中退 計	1					1		1		2 1 3	1.5 (33.3) 2.0
C	在所 中退 計	6	1	3 1 5	5 1	2 1		3	7 1		27 4 31	20.8 (12.9) 20.8
D	在所 中退 計	11	1	2	4	7 2	9 1	7	10 1	2 2	56 8 64	43.1 (12.5) 42.9
E	在所 中退 計	5		1	1 2	1	2	2	1		12 3 15	9.2 (20.0) 10.1
F	在所 中退 計	1	6	1	3 1	6	3 1	10	1	2	33 3 36	25.4 (8.3) 24.2
合計	在所 中退 計	24 2 24	8 8	9 4 13	13 4 17	16 3 19	15 2 17	22 2 22	19 3 22	4 3 7	130 19 149	87.3 12.7 100.0

c 36年入所中訓生(第14表)

		機械	運輸 装置	第一電	第二電	鋳鍛	板.溶	塗装	建.土	合計	%
A	在所 中退 計	1	1	1	2					4 1 5	5.5 (20.0) 5.6
B	在所 中退 計	2	4 1			1	2	1	2	11 2 13	15.1 (15.4) 14.6
C	在所 中退 計	5 1	4 1	3 2	3 3	5 1	1 2	6 1	6 1	33 12 45	45.2 (26.7) 50.6
D	在所 中退 計	2	2	4	1	3	6 1	3	2	23 1 24	31.5 (4.2) 27.0
E	在所 中退 計			1						1 1	1.4 1.1
F	在所 中退 計								1	1 1	1.4 1.1
合計	在所 中退 計	10 1 11	11 2 13	8 3 11	6 3 9	9 1 10	9 3 12	9 2 11	11 1 12	73 16 89	82.0 18.0 100.0

d 37年入所中訓生(第15表)

		機械		第一電	第二電	鋳鍛	板.溶	塗装	建.土	合計	%
A	在所 中退 計	1	1		2			1		5 5	6.2 5.9
B	在所 中退 計	2 1	2	4 1	5	2	4	3	2 2	24 4 28	30.0 (14.3) 32.9
C	在所 中退 計	4 1	5	5	2	5	3	5	5	34 1 35	42.5 (2.9) 41.2
D	在所 中退 計	1	4	2	1	3	2	1	2	16 1 16	20.0 18.8
E	在所 中退 計							1		1 1	1.3 1.2
F	在所 中退 計										
合計	在所 中退 計	8 2 10	12 12	11 1 12	10 10	10 10	9 7	11 11	9 2 11	80 5 85	94.1 5.9 100.0

5. 附属総訓，知的特性段階と成績との関係(第16表)

A 37年入所生

(i)専門学科との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		1	13	19	6	4	43		2.3	30.2	44.2	14.0	9.3	
下群		1	2	19	5	16	43		2.3	4.7	44.2	11.6	37.2	

(ii)実習成績との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		1	10	22	2	5	40		2.5	25.0	55.0	5.0	12.5	
下群		1	7	14	6	11	39		2.6	17.9	35.9	15.4	28.2	

B 36年入所生

(i)専門学科との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		3	15	18	1	3	40		7.5	37.5	45.0	2.5	7.3	
下群			5	21	3	7	36			13.9	58.4	8.3	19.4	

(ii)実習成績との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		1	15	12		3	31		3.2	48.4	38.7		9.7	
下群			3	15	4	4	26			11.5	57.7	15.4	15.4	

6. 附属総訓器用さ段階と成績との関係(第18表)

C 37年入所生

(i)専門学科との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		2	13	19	8	1	43		4.7	30.2	44.2	18.6	2.3	
下群			9	24	10	1	44			20.4	54.6	22.7	2.3	

(ii)実習成績との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群			10	19	12		41			24.4	46.3	29.3		
下群		2	5	20	11	1	39		5.1	12.8	51.3	28.2	2.6	

D 36年入所生

(i)専門学科との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		2	17	17	3	1	40		5.0	42.5	42.5	7.5	2.5	
下群		2	14	13	7		36		5.6	38.9	36.1	19.4		

(ii)実習成績との関係

成績	実数							%						
	A	B	C	D	E	F	合計	A	B	C	D	E	F	
上群		2	13	11	5		31		6.5	41.9	35.5	16.1		
下群			10	10	7		27			37.0	37.0	26.0		

7. 中訓的的特性段階と成績との関係 (第17表)

A 37年入所生

(i) 専門学科との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群	4	8	11	5			28	14.3	28.5	39.3	17.9		
下群		5	15	7	1		28		17.9	53.6	24.9	3.6	

(ii) 実習成績との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群	4	7	11	6			28	14.3	25.0	39.3	21.4		
下群		7	13	7	1		28		25.0	46.4	25.0	3.6	

B 36年入所生

(i) 専門学科との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群	3	5	12	5			25	12.0	20.0	48.0	20.0		
下群		3	10	9	1	1			12.5	41.6	37.5	4.2	4.2

(ii) 実習成績との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群	3	5	6	8			22	13.6	22.7	27.3	36.4		
下群	1	4	9	9	1		24	4.2	16.6	37.5	37.5	4.2	

8. 中訓器用さ段階と成績との関係 (第19表)

A 37年入所生

(i) 専門学科との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上級		5	12	8	3		28		17.9	42.9	28.5	10.7	
下級		5	11	9	3		28		17.9	39.3	32.1	10.7	

(ii) 実習成績との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上級		3	14	8	3		28		10.7	50.0	28.6	10.7	
下級		4	11	8	5		28		14.3	39.3	28.6	17.8	

B 36年入所生

(i) 専門学科との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群		3	11	8	3		25		12.0	44.0	32.0	12.0	
下群		2	8	13	1		24		8.3	33.3	54.2	4.2	

(ii) 実習成績との関係

成績	実数						合計	%					
	A	B	C	D	E	F		A	B	C	D	E	F
上群		3	8	10	1		22		13.6	36.4	45.5	4.5	
下群		4	6	13	1		24		16.6	25.0	54.2	4.2	

第21表
附属総訓学科相互間の相関(37年)

	数 学	理 科	国 語
数 学		0.35	0.52
理 科			0.48
国 語			

第22表
中訓, 学科相互間の相関(37年)

	数 学	物 理	化 学	英 語
数 学		0.63	0.61	0.61
物 理			0.74	0.66
化 学				0.70
英 語				

第23表
学科成績と適性検査との相関(附属総訓)(労働省II)

性 能	合 計		数 学		理 科		国 語	
	36年	37年	36年	37年	36年	37年	36年	37年
G知能	0.64	0.70	0.59	0.66	0.38	0.37	0.64	0.69
V言語	0.48	0.61	0.41	0.52	0.22	0.25	0.64	0.80
N算数	0.68	0.64	0.61	0.66	0.42	0.25	0.52	0.51
Q書記的知覚	0.26	0.28	0.26	0.24	0.10	-0.09	0.31	0.44
S空間弁別	0.45	0.35	0.38	0.36	0.26	0.15	0.35	0.13
P形態知覚	0.09	0.30	0.10	0.27	0.00	0.22	0.06	0.23
D運 動	0.21		0.22		0.15		0.18	

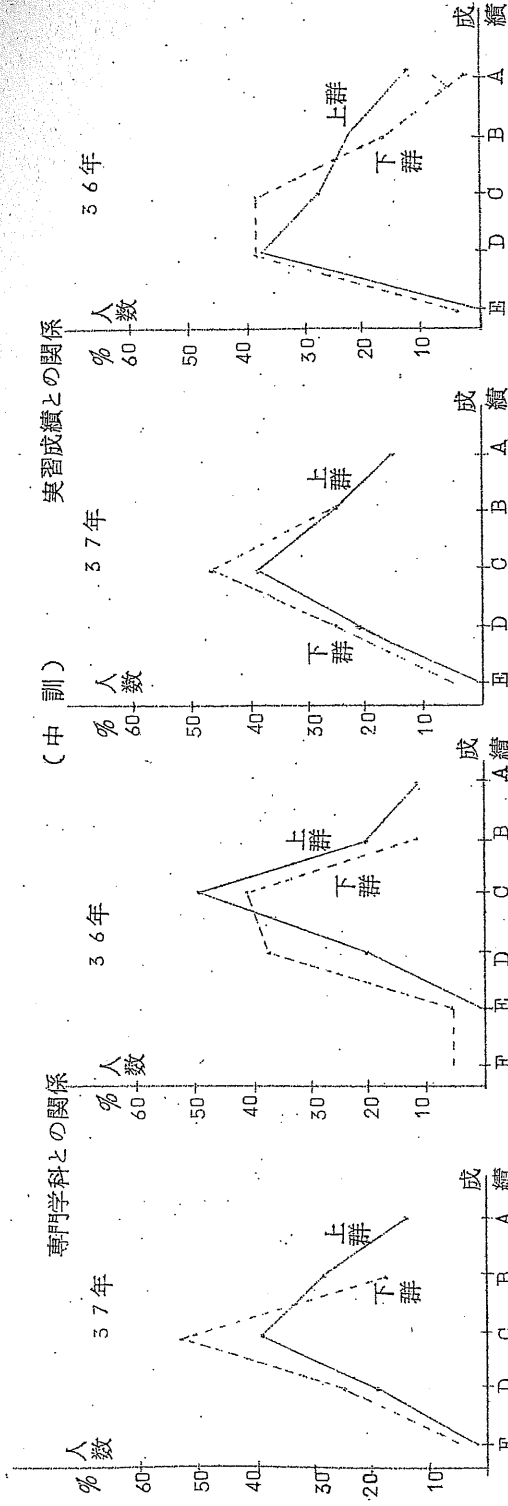
第24表
学科成績と適性検査との相関(中訓生)(労働省III)

性 能	36年 合計点	数 学		36年 理 科	37年 物 理	37年 化 学	36年 国 語	英 語		36年 社 会
		36年	37年					36年	37年	
G知能	0.41	0.39	0.42	0.21	0.43	0.48	0.40	0.32	0.49	0.33
V言語	0.40	0.35	0.37	0.16	0.39	0.42	0.45	0.37	0.53	0.34
N算数	0.40	0.39	0.43	0.21	0.47	0.50	0.37	0.30	0.44	0.21
Q書記的知覚	0.19	0.18	0.25	0.10	0.20	0.25	0.18	0.23	0.29	0.14
S空間弁別	0.22	0.20	0.20	0.11	0.17	0.24	0.20	0.14	0.19	0.16
P形態知覚	0.20	0.20	0.18	0.06	0.13	0.14	0.15	0.10	0.10	0.09
D運 動	0.15	0.13	0.14	0.10	0.14	0.19	0.11	0.12	0.18	0.04

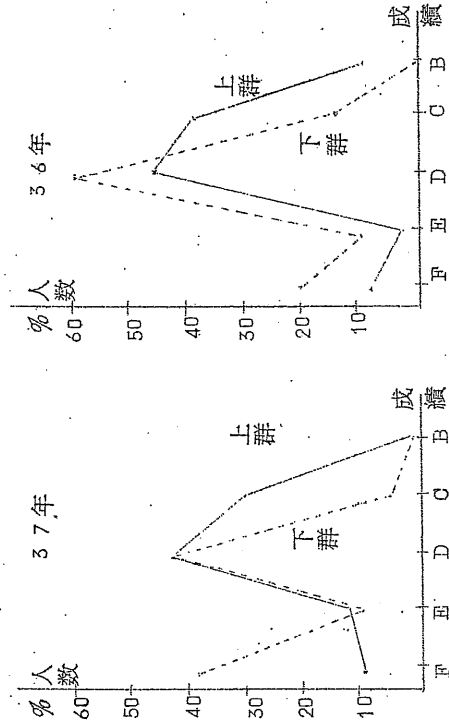
第25表 36年中訓応募者の学科総合点と適性検査成績(労働省III)

性 能	人 員	以下49	50~ 69	70~ 89	90~ 109	110~ 129	130~ 149	50以上	学科成績
G 知 能	69 102 74			17.4 4.9 4.1	44.9 25.5 16.2	31.9 56.8 44.6	4.4 11.8 29.7	1.4 1.0 5.4	← 419 420~699 700→
V 言 語	69 102 74		5.8 1.3	20.3 4.9 5.4	33.3 35.3 17.6	34.8 50.0 46.0	4.4 9.8 29.7	1.4	← 419 420~699 700→
N 算 数	71 102 74		2.8	18.3 7.9 5.4	46.5 33.3 28.4	28.2 48.0 41.9	4.2 6.9 20.2	3.9 4.1	← 419 420~699 700→
Q 書 記 的 知 覚	69 101 73		8.7 1.0 4.1	31.9 23.8 16.4	39.1 41.5 35.7	8.7 26.7 26.0	7.2 4.0 15.1	4.4 3.0 2.7	← 419 420~699 700→
S 空 間 弁 別	71 103 74		1.4 1.9	21.1 8.8 8.1	39.4 33.0 33.8	26.8 40.8 36.5	7.1 13.6 20.3	4.2 1.9 1.3	← 419 420~699 700→
P 形 態 知 覚	71 103 74	1.0	7.0 6.8 4.1	38.0 23.3 18.9	40.9 37.8 50.0	9.9 23.3 20.3	4.2 6.8 4.1	-1.0 2.6	← 419 420~699 700→
D 運 動 度	71 101 73	1.4 1.0 1.4	5.6 7.9 1.4	32.4 21.9 21.9	35.3 36.6 35.6	19.7 26.7 24.6	5.6 5.9 15.1		← 419 420~699 700→

知的特性と専門学科成績・実習成績との関係

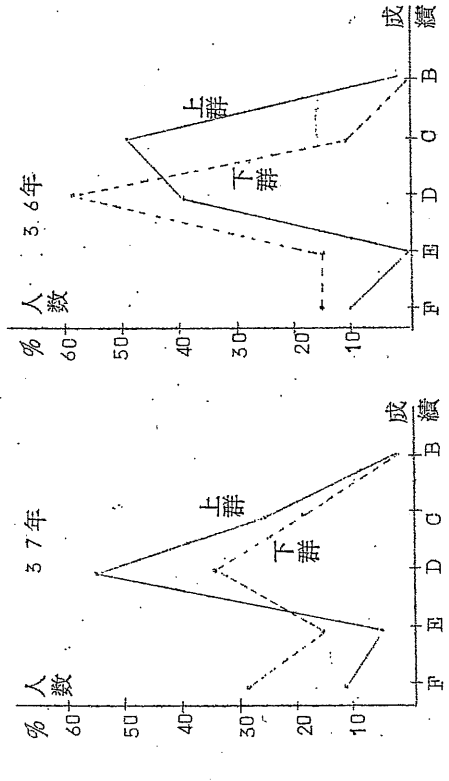


専門学科成績との関係



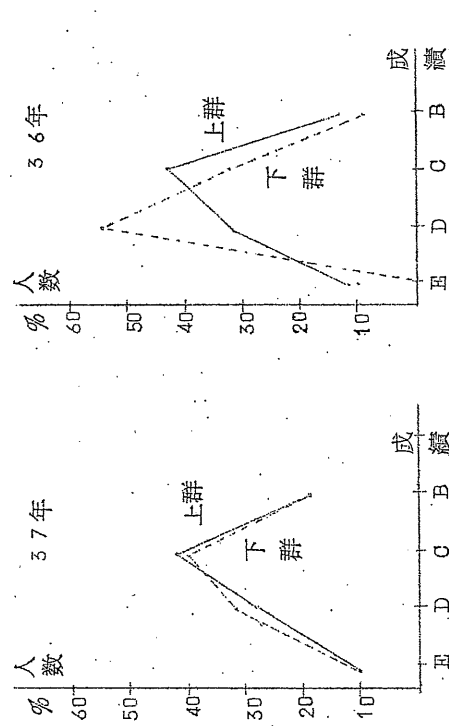
(附属総訓)

実習成績との関係

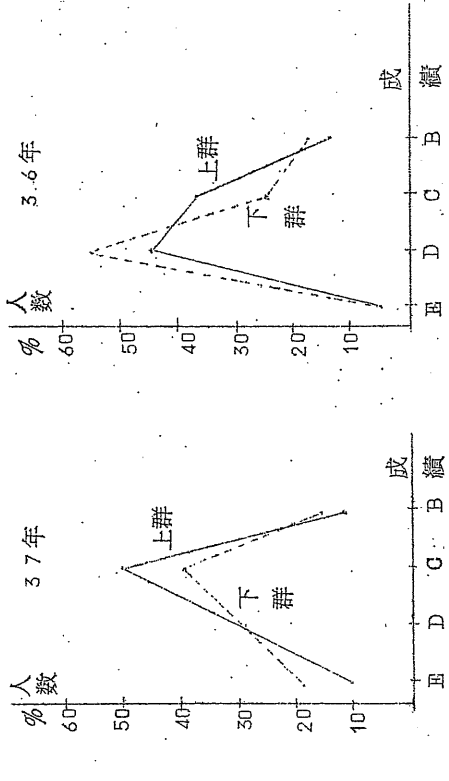


器用さと専門学科成績・実習成績との関係

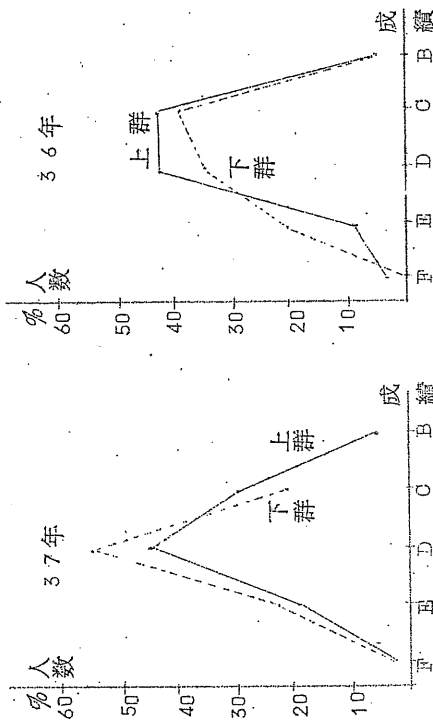
専門学科成績との関係



実習成績との関係

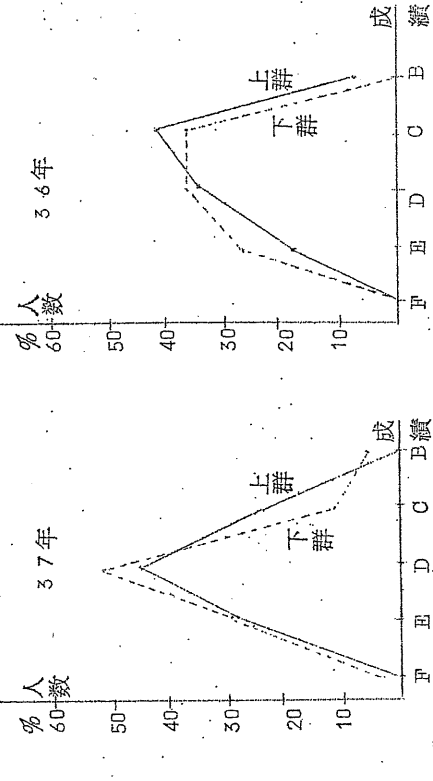


専門学科成績との関係



(附属総訓)

実習成績との関係



第26表 附属総訓36年入所生1年前期専門学科合計と入所試験との相関

科	入試合計	入試数学	入試理科
機械科	0.62	0.72	0.36
機械製図科	0.62	0.50	0.39
自動車整備科	0.69	0.36	0.16
ラジオ・テレビ科	0.41	0.57	0.03
電工科	0.74	0.55	0.63
電気機器修理科	0.43	0.41	0.51
溶接科	0.44	0.53	0.38
板金科	0.08	-0.04	0.32

列位差法による

第27表 附属総訓36年入所生1年前期専門学科合計と性能との相関

科	G 知能	V 言語	N 算数	Q 書記的知覚	S 空間弁別	P 形態知覚
機械科	0.41	0.28	0.47	0.23	0.26	0.16
機械製図科	0.53	0.53	0.50	0.60	0.05	0.13
自動車整備科	0.33	0.37	0.17	0.04	0.06	0.11
ラジオ・テレビ科	0.47	0.56	0.25	-0.05	0.40	-0.08
電工科	-0.13	0.15	0.40	-0.21	-0.16	0.28
電気機器修理科	0.69	0.56	0.61	0.74	0.78	0.10
溶接科	0.69	0.79	0.74	-0.46	0.21	0.10
板金科	0.03	0.58	-0.08	0.10	0.04	0.64

列位差法による

第28表 中訓36年入所生1年前期専門学科合計と入所試験との相関

科	入試合計	入試数学	入試理科	入試英語	入試国語	入試社会
機械科	-0.16	-0.03	-0.35	-0.01	0.09	0.10
板金溶接科	0.26	0.67	-0.13	0.32	0.52	0.06
第一電気科	0.03	-0.15	-0.43	0.25	0.66	0.43
第二電気科	0.09	0.55	-0.12	0.61	0.18	0.85
運輸装置科	-0.19	0.11	-0.15	-0.35	0.08	0.35
鑄造鍛造科	0.73	0.65	0.01	0.33	0.20	0.63
木材加工建築専科	0.60	0.16	0.60	-0.03	0.25	0.26
木材加工木工専科	0.60	0.60	0.70	0.30	0.90	0.10
塗装科	0.56	0.56	0.96	-0.31	0.75	-0.41

列位差法による

第29表 中訓36年入所生の1年前期専門学科合計と性能との相関

科	G 知能	V 言語	N 算数	Q 書記的知覚	S 空間弁別	P 形態知覚
機械科	0.55	0.65	0.75	0.45	0.03	0.28
板金溶接科	0.85	0.55	0.52	0.32	0.45	0.64
第一電気科	-0.08	0.18	-0.18	0.28	-0.39	-0.45
第二電気科	0.13	-0.04	0.18	-0.02	0.36	0.36
運輸装置科	-0.18	-0.13	-0.07	-0.13	0.16	0.21
鑄造鍛造科	0.60	0.59	0.13	-0.14	0.45	-0.05
木材加工建築専科	0.59	0.57	0.39	0.26	-0.04	0.09
木材加工木工専科	1.00	0.90	1.00	0.20	0.80	0.90
塗装科	0.31	0.27	-0.47	-0.39	0.44	-0.25

列位差法による

第30表 36年入所中訓・附属総訓における適性検査相互間の相関

性 能	附属総訓		中 訓	
	第IIと第III	第IIと第III	第IIIの1回目と2回目	第IIIの2回目と第II
G	0.84	0.70	0.78	0.67
V	0.82	0.49	0.73	0.64
N	0.80	0.80	0.82	0.86
Q	0.84	0.68	0.79	0.90
S	0.51	0.45	0.60	0.46
P	0.68	0.62	0.60	0.51
D			0.65	
D+A	0.69	0.48		0.59
D+T	0.71	0.58		0.71
D+F	0.22	0.15		
D+M	0.29	0.26		

列位差法による